

東邦大学学術リポジトリ

Toho University Academic Repository

タイトル	渡邊善則先生ご略歴
別タイトル	Retired Professor Yoshinori Watanabe: Curriculum Vitae
作成者（著者）	東邦大学医学会編集委員会
公開者	東邦大学医学会
発行日	2022.03.01
ISSN	00408670
掲載情報	東邦医学会雑誌. 69(1). p.10 13.
資料種別	学術雑誌論文
内容記述	退任記念
著者版フラグ	publisher
JaLDOI	info:doi/10.14994/tohoigaku.2021_049
メタデータのURL	https://mylibrary.toho-u.ac.jp/webopac/TD41058145



渡邊善則先生ご略歴

1957年1月22日生

- 1975年3月 神奈川県立希望ヶ丘高等学校卒業
- 1976年4月 東邦大学医学部医学科入学
- 1982年3月 東邦大学医学部医学科卒業
- 1982年5月 東邦大学医学部附属大森病院 研修医
- 1984年6月 東邦大学医学部第一外科学教室 研究生
- 1989年4月 東邦大学医学部胸部心臓血管外科学教室新設に伴い移籍
- 1989年9月 東邦大学医学部助手（胸部心臓血管外科学講座）
- 1990年6月 東京医科歯科大学胸部外科学講座 医員出向
- 1991年4月 東邦大学医学部 助手（胸部心臓血管外科学講座）復職
- 1991年7月 東邦大学医学部 助手（佐倉病院外科学講座）
- 1993年12月 東邦大学医学部 助手（胸部心臓血管外科学講座）
- 1994年10月 東邦大学医学部胸部心臓血管外科学講座医局長（平成10年3月迄）
- 1997年6月 東邦大学医学部 講師（胸部心臓血管外科学講座）
- 2005年2月 東邦大学医学部外科学講座（大森）心臓血管外科 助教授（病院）
- 2007年4月 東邦大学医学部外科学講座（大森）心臓血管外科 准教授（病院）
- 2010年12月 東邦大学医療センター大森病院大動脈治療センター センター長

2011年8月 東邦大学医学部外科学講座(大森)心臓血管外科 教授(病院)
 2012年10月 東邦大学医学部外科学講座心臓血管外科学分野 教授
 2012年10月 東邦大学大学院医学研究科代謝機能制御系心臓血管外科学 教授

主な学内の役職等

2012年9月 学校法人東邦大学 理事, 評議員
 2013年4月 医学部教務部会長(2014年3月まで)
 2013年4月 医学部卒業試験運営委員長(2018年3月まで)
 2013年4月 医学部6年次部会長(2015年3月まで)
 2013年4月 医療センター大森病院 保険・DPC委員会副委員長(2018年3月まで)
 2014年4月 医学部教務部次長(2016年3月まで)
 2015年4月 医学部予算委員長(2018年3月まで)
 2015年9月 学校法人東邦大学 理事, 評議員(重任)
 2016年4月 医学部入試委員長(2018年3月まで)
 2017年4月 TDM委員会委員長(2018年3月まで)
 2018年4月 東邦大学 医学部長・医学研究科長(2021年3月まで)
 2021年4月 医療センター大森病院 保険・DPC委員会副委員長
 2021年9月 学校法人東邦大学 評議員

受賞など

令和3年度社会保険診療報酬支払基金関係功績者厚生労働大臣表彰

主な学外の役職等

【公的経歴】

厚生労働省 保険医療材料等専門組織 本委員(常任)(平成28年11月～現在)
 厚生労働省 平成26年度診療報酬改定;医療技術の評価・再評価WG評価委員
 平成28年度診療報酬改定;医療技術の評価・再評価WG評価委員
 平成30年度診療報酬改定;医療技術の評価・再評価WG評価委員
 令和2年度診療報酬改定;医療技術の評価・再評価WG評価委員
 令和4年度診療報酬改定;医療技術の評価・再評価WG評価委員
 日本医師会 学術企画委員(平成28年8月2日～現在)
 社会保険診療報酬支払基金
 東京支部運営委員(令和3年7月1日～現在)
 専門審査委員会主任委員(令和2年7月1日～現在)
 専門審査委員会委員(平成25年6月1日～令和2年6月30日)
 東京都CCU連絡協議会 学術委員(大動脈班)(平成22年11月～現在)
 東京都大動脈スーパーネットワーク運営委員(平成22年11月～現在)

【社会活動】

日本医療安全調査機構センター調査<C0115> 委員
 日本医療安全調査機構センター調査<C0147> 委員長
 Annals of Thoracic and Cardiovascular Surgery Editor in chief

【学会・研究会の役職】

日本外科学会 代議員
 日本胸部外科学会 評議員
 日本心臓血管外科学会 監事・評議員
 日本血管外科学会 評議員
 日本脈管学会 評議員
 日本冠動脈外科学会 理事・評議員

日本冠疾患学会 監事・評議員
日本血管内治療学会 評議員
日本心臓移植研究会 世話人
日本心臓血管外科再生治療研究会 世話人
日本 Advanced Heart & Vascular Surgery/OPCAB 研究会 世話人
日本胸部外科学会関東甲信越地方会 幹事
日本血管外科学会関東甲信越地方会 代表幹事
関東心臓外科手術手技研究会 世話人
大動脈解離シンポジウム 幹事
アジア胸部心臓血管外科学会正会員
その他

教授在任を振り返って

渡邊 善則

前医学部長

外科学講座心臓血管外科学分野（大森）主任教授

2011年8月に東邦大学医学部外科学講座（大森）心臓血管外科教授（病院）を拜命、2012年10月に講座教授に任用替えし、10年8か月の教授在任となりました。小山信彌先生が主任教授として講座を運営されていたので、教授としての重責を認識できていなかったかもしれません。思い起こせば2013年4月に教室責任者になった時、多くの困難な問題に直面しました。それまでは、高難度手術あるいは先進的手術を身に付けることを目指していましたが、教育・研究・臨床全てにおいて、全教室員の指導者としての責任を持つことの重圧に、押し潰されそうになり、イラついた日々を過ごしていました。ある時、完成された教授を演ずる必要はなく、自分が身に付けた考え方や対応の仕方を、在るが儘の未完成な姿を医局員に示す事しかできない事に気づき、突然眼前が開けて楽な気持ちになりました。その後は、医局員に対し明確な目標を掲げ、自主性を促し、積極的にチャンスを与え、努力と成果を正しく評価する事で、医局を活性化する事を目指してきました。私の不徳の致すところですが、医局に関わらない学内外の仕事が多くなり、活発な活動に指導が追い付かない時期もあり、医局員には申し訳なく思っていました。しかしながら、在任期間が短く医局員も少ない中7名が学位を得、臨床面では冠動脈バイパス手術の臨床成績を全国トップレベルに引き上げ、低侵襲冠動脈バイパス手術（MIDCAB、OPCAB）で

学会を主導、急性大動脈解離手術の臨床成績を全国トップレベルに引き上げ、補助人工心臓の導入実施、独創的左室形成手術の確立、僧帽弁形成手術の確立、内視鏡手術の導入（バイパスグラフト採取、心臓腫瘍摘出術、左内血栓摘出術）、血管内治療（EVAR、TEVAR）の導入、TAVIの導入、IMPELLA 補助循環カテーテルの導入など、時代をキャッチアップした積極的臨床活動を推し進めてきました。これらの臨床実績に基づき数多くの学会発表がなされ、多くの論文が社会に発信されました。必然的に年間診療総収入も増加し、この10年間で7億円/年から12億円/年を超えるまでに至りました。これらは医局が活性化した証であり、将来に向け自立的に発展する医局の礎を築けたと自負しています。また、2018年から3年間医学部長・医学研究科長を務めたことで、心臓血管外科医としてではなく、広い視野で医学部を運営する事を学びました。退任後は医療の質担当特任教授として、東邦大学の発展に寄与できるよう努めて参ります。

今日まで御指導頂いた諸先輩、共に働かせて頂いた大学・医学部・病院・医療関係者の皆様に感謝を捧げ、退任の挨拶とさせていただきます。

DOI : 10.14994/tohoigaku.2021-049